

## 日本西洋史学会第53回大会のご案内

早春の候、ますますご清祥のことと存じ上げます。

さて、すでにご通知いたしましたとおり、来る5月10日(土) 11日(日)の両日、愛知県立大学において日本西洋史学会第53回大会を開催いたしますので、ここにご案内申し上げます。

つきましては、出欠を同封の葉書にて、4月10日(木)までにお知らせ下さい。

また、大会参加費および懇親会費は、当日の混雑緩和のため、同封の郵便振替用紙にて、注意事項をご参照の上、4月10日(木)までにお振込み下さい。

多数の皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

2003年3月

日本西洋史学会第53回大会準備委員会

代表 大野 誠

### 大会プログラム

第1日	2003年5月10日(土):	愛知県立大学
理事会	11:30~12:30	学術文化交流センター・多目的ホール
受付開始	11:30	
公開講演	13:00~16:30	講堂
	松本 宣郎 (東北大学)	
	「古代地中海都市の『衰退』とキリスト教」	
	栗原 優 (創価大学)	
	「ホロコーストと現代」	
総会	16:30~17:00	
懇親会	17:30~19:30	学内食堂

第2日	2003年5月11日(日):	愛知県立大学
受付開始	8:30	
部会別自由論題報告	9:00~17:00	講義棟(南棟・東棟)
シンポジウム	13:30~17:30	講堂
小シンポジウム	13:30~17:30	学術文化交流センター・多目的ホール

〒480-1198 愛知郡長久手町熊張  
愛知県立大学 外国語学部気付  
FAX:(0561)64-1107(学部共用)

## 部会別自由論題報告

5月11日(日)

古代史部会(9:45~12:00)

1. 鷲田 睦朗 (大阪大学)
2. 高橋 亮介 (東京大学)
3. 藤澤 明寛 (早稲田大学)

学術文化交流センター・多目的ホール

- ローマ期におけるイタリア産ワインの産地銘柄  
司会者 毛利 晶 (神戸大学)
- ローマ期エジプトにおける兄弟姉妹婚  
ローマの支配と属州地方慣習をめぐる一考察  
司会者 樋脇 博敏 (東京女子大学)
- イタリア地方都市における財政  
司会者 岩井 経男 (広島大学)

中世史部会

午前の部(9:45~12:00)

1. 杉浦 武仁 (関西大学)
2. 佐藤 彰一 (名古屋大学)
3. 阿部 俊大 (東京大学)

H004 教室(東棟地下1階)

- 「王権代行」としての司教権力  
7世紀後半のル・マンの事例から  
司会者 日置 雅子 (愛知県立大学)
- メロヴィング王朝の婚姻戦略  
ポスト・ローマ国家の自己維持機制  
司会者 森 義信 (大妻女子大学)
- 12世紀バルセロナ伯領南部における再植民と社会形成  
司会者 関 哲行 (流通経済大学)

午後の部(13:30~16:30)

4. 上山 益己 (大阪大学)
5. 西岡 健司 (京都大学)
6. 高木 啓子 (京都大学)
7. 三浦 敦子 (東京都立大学)

- 中世盛期フランスの領邦における歴史叙述  
一領邦における共属意識をめぐって  
司会者 山田 雅彦 (熊本大学)
- 12,13世紀スコットランドにおけるScottishness  
司会者 有光 秀行 (東北大学)
- フィリップ・オーギュスト時代(1180-1223)の「王国(regnum)」概念  
司会者 江川 温 (大阪大学)
- 中世後期奢侈条令に見るヴェネツィアにおける都市政府と女性  
司会者 齊藤 寛海 (信州大学)

中世史部会 (9:00~12:00)

1. 赤江 雄一  
(英国・リーズ大学)
2. 森下 園 (上智短期大学)
3. 上野 未央  
(お茶の水女子大学)
4. 鶴島 博和 (熊本大学)

B101 教室(南棟1階)

- 14世紀イングランドにおける説教者の図書館  
ヨーク托鉢修道院の事例から  
司会者 鶴島 博和 (熊本大学)
- 中世イングランド市民の遺言状が語る社会的結合  
ノーリッジ市の事例から  
司会者 朝倉 文市 (ノートルダム清心女子大学)
- 中世後期イングランドの聖母マリア像  
「キャロル写本」を中心として  
司会者 三好 洋子
- 「資料」が語る騎士の姿  
11から13世紀におけるケントの騎士家族の「定性分析」  
司会者 森本 芳樹 (久留米大学)

- 近世史部会 (9:45 ~ 12:00) B201 教室 (南棟 2 階)
1. 和栗 珠里 (桃山学院大学) 「ポスト・カンブレー期」ヴェネツィアの寡頭支配層と芸術パトロネジ  
San Francesco della Vigna 教会と有力家系のネットワーク  
司会者 齊藤 寛海 (信州大学)
  2. 野々瀬 浩司 (防衛大学校) 宗教改革者たちと農奴制問題について  
ベルンの再洗礼派の場合を中心にして  
司会者 森田 安一 (日本女子大学)
  3. 坂野 正則 (東京大学) 17 世紀ヌヴェル・フランスにおける植民地建設とカトリシズム  
司会者 深沢 克己 (東京大学)

- 近代史部会 H201 教室 (東棟 2 階)
- 午前の部 (9:45 ~ 12:00)
1. 志村 真幸 (京都大学) 18 世紀イギリスの見たスイス  
風土的・歴史的「自由」の発見  
司会者 芝井 敬司 (関西大学)
  2. 赤松 淳子 (筑波大学) 18 世紀イングランドにおける婚姻のモラル  
アーチ裁判所の訴訟記録から  
司会者 長谷川 まゆ帆 (東京大学)
  3. 山口 みどり (日本学術振興会) 「当方牧師の娘」  
父親の職からみたヴィクトリア期ミドルクラス女性  
司会者 河村 貞枝 (京都府立大学)

- 午後の部 (13:30 ~ 15:45)
4. 岩間 俊彦 (東京都立大学) 地域社会における政治とミドルクラス  
19 世紀第 2 四半期におけるハリファクスの議員選挙  
司会者 青木 康 (立教大学)
  5. 伊藤 航多 (東京大学) “Wise Week”  
19 世紀イングランド北部の地域社会と 科学 の祭典  
司会者 松塚 俊三 (福岡大学)
  6. 長野 一大 (東北大学) チャーティズムにたいする下院議員の投票行動  
議会改革・急進的民衆運動とその政治過程にかんする一考察  
司会者 岡本 充弘 (東洋大学)

- 近代史部会 H203 教室 (東棟 2 階)
- 午前の部 (9:00 ~ 12:00)
1. 戸波 勝徳 (東京外国語大学) 18 世紀前半ポーランドの国制改革論  
スタニスワフ・レシチンスキの『自由を保障する自由の声』を中心として  
司会者 小山 哲 (京都大学)
  2. 空 由佳子 (東京大学) 18 世紀末パリにおける施療院改革  
慈善から福祉へ  
司会者 宮崎 揚弘 (慶應義塾大学)
  3. 早川 理穂 (早稲田大学) あるパン屋の死  
フランス革命期の民衆運動と暴力  
司会者 松浦 義弘 (成蹊大学)
  4. 佐久間 大介 (京都大学) ナポレオン戦争期のティロールにおける  
「愛邦主義 Landespatritismus」  
司会者 大津留 厚 (神戸大学)

各報告とも報告時間 30 分、質疑応答 15 分です。

- 午後の部 (13:30~16:30)
5. 柴野 均 (信州大学) H203 教室(東棟2階)  
sventramento の意味  
司会者 戸田 三三冬(文教大学)
6. 川崎 亜紀子(早稲田大学) 二月革命とアルザス・ユダヤ人  
1848年の反ユダヤ暴動をめぐって  
司会者 内田 日出海(成蹊大学)
7. 松田 祐子(大阪大学) 第三共和政前半のパリの「乳母制度」  
司会者 長谷川 まゆ帆(東京大学)
8. 飯田 洋介(早稲田大学) ビスマルクとソールズベリー  
1880年代後半の独英関係  
司会者 三宅 正樹(明治大学)
- アメリカ史部会
- 午前部の部 (9:00~12:00)
1. 森脇 由美子(三重大学) B107 教室(南棟1階)  
1849年アスタープレイス暴動  
19世紀中葉ニューヨークの社会関係と文化  
司会者 野村 達朗(愛知学院大学)
2. 大橋 秀子(愛知教育大学) 『ソシアリスト・ウーマン(*The Socialist Woman*)』を発行した  
金子・コンガー夫妻  
20世紀初頭のアメリカ社会主義フェミニズムをめぐって  
司会者 篠田 靖子(金城学院大学)
3. 山内 恵(清泉女子大学) 20世紀初頭のアメリカ合衆国の「母性主義」と日本におけるその受容  
司会者 野村 達朗(愛知学院大学)
4. 黒崎 真(筑波大学) 北部白人リベラル教会組織との連携  
キング牧師の公民権運動戦略再考  
司会者 川島 正樹(南山大学)
- 午後の部 (13:30~16:30)
5. 片桐 康宏(東海大学) 「ミシシッピ州主権委員会」の歴史を通して観る南部の抵抗  
アメリカ合衆国南部黒人公民権運動「裏面史」理解のために  
司会者 野村 達朗(愛知学院大学)
6. 森田 英之(西南学院大学) アメリカ主要都市の利害と対日・対中共世論の位相  
1945年時における主要紙の論調を中心に  
司会者 藤本 博(南山大学)
7. 豊田 真穂(東京大学) アメリカ占領下の日本における女性労働改革  
労働省婦人少年局の設立を中心に  
司会者 佐藤 千登勢(西南学院大学)
8. 喜多 千草(大阪産業大学) 戦後アメリカ政府の研究開発援助とインターネットの誕生  
司会者 中野 耕太郎(大阪市立大学)
- 現代史部会
- 午前部の部 (9:45~12:00)
1. 望月 真紀(上智大学) H005 教室(東棟地下1階)  
「シュパーン事件」再考  
ドイツ第二帝政期のカトリック教授任命をめぐって  
司会者 服部 伸(同志社大学)

2. 伊東 直美 (東京大学) 1913年ドイツにおける国籍法改正の議論  
「国民」の規定をめぐって  
司会者 伊藤 定良 (青山学院大学)
3. 原 信芳 (浜松大学) ワイマール共和国前期の職業紹介失業給付システム (1918-26年)  
司会者 福澤 直樹 (名古屋大学)

午後の部 (13:30~16:30)

4. 橋本 秀人 (専修大学) ナチス体制初期の強制収容所  
プロイセン邦立エムスラント収容所 1933-34年  
司会者 芝 健介 (東京女子大学)
5. 増田 好純 (東京大学) ナチ強制収容所における囚人強制労働  
SS 経済管理本部の収容所政策を中心に  
司会者 芝 健介 (東京女子大学)
6. 池邊 範子 (東京大学) フリッツ・バウアーと戦後ドイツの民主主義  
司会者 田村 栄子 (佐賀大学)
7. 中村 綾乃 (お茶の水女子大学) ナチ体制下の神戸ドイツ人社会  
辺境におけるナチズムの成立とその浸透  
司会者 石田 勇治 (東京大学)

現代史部会

午前の部 (9:00~12:00)

1. 堀内 隆行 (京都大学) H202 教室 (東棟 2 階)  
ミルナー・キンダーガルテンの南アフリカ経験 (1899-1910年)  
「ブリタニック・シティズンシップ」の生成  
司会者 井野瀬 久美恵 (甲南大学)
2. 高林 陽展 (立教大学) 戦争神経症とイギリス  
現代史における「医学・医療の社会史」の試み  
司会者 鈴木 晃仁 (慶應義塾大学)
3. 田中 慎一郎 (専修大学) 1917年ロシア革命におけるメンシェヴィキ  
司会者 土屋 好古 (日本大学)
4. 中島 崇文 (東京大学) 第一次世界大戦後のルーマニアにおける地方行政改革  
司会者 石田 信一 (跡見学園女子大学)

午後の部 (13:30~16:30)

5. 藤岡 寛己 (明治大学) イタリア戦闘ファッシの誕生  
司会者 村上 信一郎 (神戸市外国語大学)
6. 馬場 孝 (南九州短期大学) カレンジン人の民族形成  
植民地行政年次報告書の検討を中心に  
司会者 松田 素二 (京都大学)
7. 鈴木 咲里奈 (東京大学) チェコスロヴァキア第一共和国のユダヤ人  
民族 (narodnost) としての承認と帰属意識の考察  
司会者 篠原 琢 (東京外国語大学)
8. 市橋 秀夫 (埼玉大学) 1960年代イギリスにおける性犯罪法の成立と「寛容社会」  
司会者 長谷川 淳一 (大阪市立大学)

各報告とも報告時間 30 分、質疑応答 15 分です。

## シンポジウム 「革命・公共圏・性文化」

13:30～17:30 講 堂

### 問題提起・司会

若尾 祐司（名古屋大学）  
栖原 弥生（愛知県立大学）

### 報告者

天野 知恵子（愛知県立大学） フランス革命期の女性像と子ども像  
田中 きく代（関西学院大学） 19世紀の国民形成に見る共和国のイデーと性文化  
- アメリカ合衆国の場合 -  
橋本 伸也（広島大学） 帝制最末期ロシアの「女学生」の世界  
- 人民への奉仕と学問への憧憬 -  
星乃 治彦（福岡大学） ナチズムとホモ・セクシュアリティ

### コメンテーター

川北 稔（大阪大学）  
落合 恵美子（国際日本文化研究センター）

## 小シンポジウム

### 「ポリスのインヴェンションー初期ギリシア史の再構築に向けて」

13:30～17:30 学術文化交流センター・多目的ホール

### 問題提起

周藤 芳幸（名古屋大学）

### 報告者

庄子 大亮（京都大学） 英雄伝説とポリスのアイデンティティ  
- アテナイにおける英雄伝説を中心に -  
長谷川 岳男（鎌倉女子大学） アルカディアにおけるコミュニティの起源  
- その帰属意識をめぐって -  
佐藤 育子（日本女子大学） フェニキアにおける都市国家の生成と発展

### コメンテーター

桜井 万里子（東京大学）  
古山 正人（國學院大学）

### 司会

澤田 典子（静岡大学）  
周藤 芳幸（名古屋大学）

## 注意事項

1. 同封の葉書で、4月10日(木)までに出席の返事をお知らせ下さい。
2. 大会参加費等の支払いは、当日の混雑緩和のため、同封の郵便振替用紙で前納をお願いいたします。締め切りは4月10日(木)です。なお、領収書は大会当日に受付でお渡しいたします。参加諸経費は、次のとおりです。

・大会参加費	3,000 円
・懇親会参加費	6,000 円
・2日目の弁当代	1,000 円

口座番号：00870-5-19546  
加入者名：日本西洋史学会第53回大会準備委員会

3. 第1日目の昼食は、学内の食堂で軽食（カレー、麺類、サンドイッチ等）が可能です。
4. **第2日目の昼食**は、大学周辺には飲食施設がなく、学内の食堂も営業しておりませんので、**弁当を事前に申し込まれること**をお勧めします。この場合弁当は、生協食堂で受け取っていただきます。
5. 費用を前納され、その後都合により、大会への出席が不可能になった場合、大会開催5日前までにその旨文書にて準備委員会へお申し出下さい。
6. 愛知県立大学への交通は、次頁の案内図をご覧ください。
7. 大会期間中、「藤ヶ丘」と会場間のバス運行は臨時増発便で対応しますが、**午後2時以降は定期バス（次頁時刻表参照）のみ**の運行となりますので、ご注意ください。  
「八草」と会場間は定期バスのみとなり、臨時増発便はありません。
8. 車でお越しの方は、正門左の守衛室で臨時駐車許可書をお受け取り下さい。
9. 大会当日の本部連絡先は次の通りです。

TEL：(0561)64-1111（内線 2406）

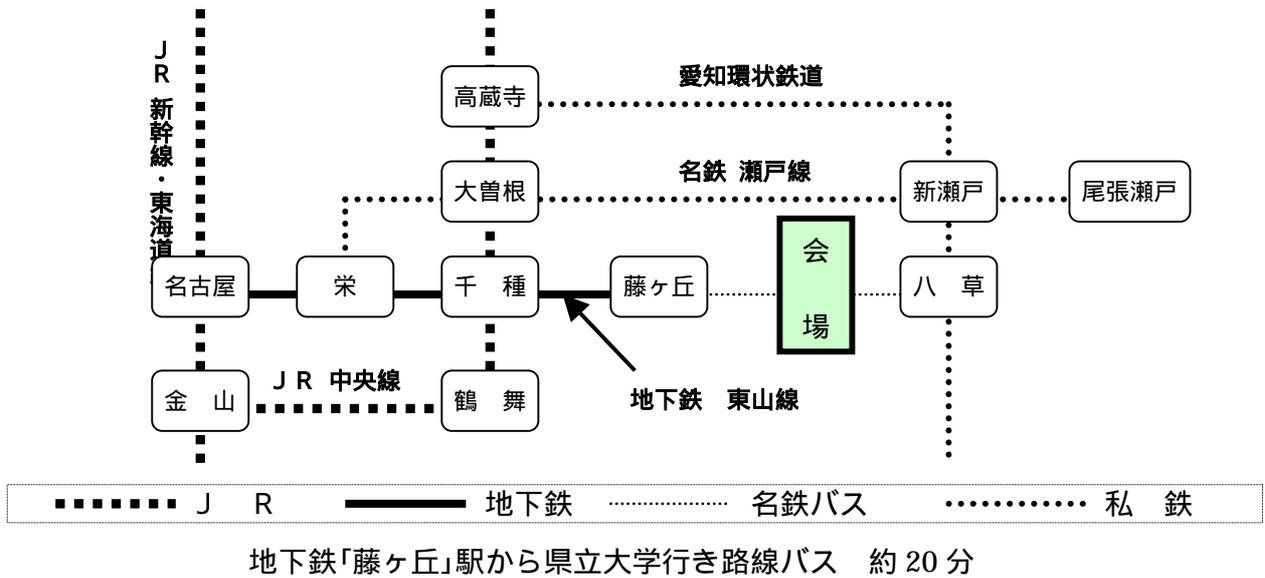
なお、この電話は大会当日以外には使えません。準備委員会との連絡は、FAX ないし郵送でお願いいたします。

愛知県立大学ホームページ  
<http://www.aichi-pu.ac.jp/>

日本西洋史学会ホームページ  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jswh/index.html>

# 学内配置図

## 交通案内



### 「藤ヶ丘」発のバス運行表(大会期間中の14時～17時)

始 発	14時	15時	16時	17時	経 路	経 由	降 車 駅	終 点
藤ヶ丘			07	10	グリーンロード (約20分)		県立大学	県立大学
	07	07				県立大学	県立大学	陶磁資料館
		35		35	岩 作 (約40分)		青少年公園	青少年公園
	35		35			青少年公園	県立大学	陶磁資料館

この時間帯以外は臨時増発便で対応いたします。  
 「青少年公園」下車の場合、会場まで徒歩2分です。